

ある日の図書館風景

土佐中・高等学校図書部長

門田 美和 (38 年生)

10月27日(金) 3時限目
1年E組

閲覧室いっぱい、49名の男子女子が仲良し同士ですわっている。静寂——集中して各々読書している。一言も話し声は聞こえてこない。

森本教頭が「中2集団研修」

引率のため、「自習」となったこの時間、「監督」となった私は、「筆記用具、自習道具を持って来るように」と指示。まずは、課題の英作のプリントを配布。「提出終了後は、好きな本を読んでいいですよ。」の一言で、いっせいにプリントにとりかかる。20分もすれば大半の生徒は終了。30分後には、3人の女子だけがプリントにむかっている。

35分経過。一周してみる。

教科の勉強している女子2名。雑誌コーナー(25種あり)の前には男子5名。マンガコーナー(手塚治虫全集等)に男子5名が床にすわりこんでいる。その他各々、好きな本を手に取り没頭している。心を耕す——こんな時間を持つことの大切さを、また、かみしめる。「朝の10分間読書」が

できなくても、こういう時をこの学校でも持たせたいものだ——と考えていると、1人の女子生徒がカウンターの前に立っている。「利用者カード」と、本のバーコードをスキャナーで読みとる。ピッピという音だけが、閲覧室に響きわたる。彼女はゲーテのファウストを借りたのだ。頼もしい・・・。45分後最後の女子も提出。入口の正面には「新書図書」の棚、その続きには特集コーナーがある。80周年の記念講演会に予定されていた大原健士郎先生(24年生)の著書23冊が並んでいる。「森田療法」を継承した大原先生の、語りかけるような易しい本を集めてみた。一人でも多くの生徒が、先輩の仕事に触れてもらいたいものだ。そういえば、昨日から小村先生の高一倫理「自分史」作成が始まった。2週間で生徒達は仕上げなければならぬ。新聞の縮刷本や年鑑類が活躍する。閲覧室に活気の生まれる時期だ。

3時限目終了のベルが鳴った。誰も立ち上がろうとしない。委員長に促して「起立、礼」で終了。私も、英作のプリントを森本先生の机に届け

るために席を立った。なお、本年度4月から、本校の図書館業務は全て機械化された。詳細については80周年記念誌に掲載。

本部だより

幹事長 岡内紀雄(34年生)

関東支部のみなさん、ご機嫌いかがですか。

高知では8月5日(土)、高知新阪急ホテルにおいて、新卒75回生を含む多数の同窓の出席を得て、二年度の総会、記念講演ならびに懇親会が盛大に開催されました。総会では、本部ならびに関東・関西・東海・広島・香川各支部の活動報告があり、収支決算・予算が承認されました。

記念講演は、37回生で株式会社西日本科学技術研究所・代表取締役の福留修文氏による「自然環境の復元をめざして」津軽・下北から屋久島への旅」というテーマで、スライドの画像を使ってのお話から、コンクリートで固めた味気ない人工的な改修工法を改め、近自然工法によって河



岡村同窓会長のご挨拶

め多数の懐かしい先生方を交えて、サッカー部OB会の澁刺とした司会進行のもと、永年同窓会活動にご尽力いただいた本部ならびに各支部の役員の方々に感謝状を贈呈、新旧同胞、杯を交しつつ、思い出話に花を咲かせ、応援歌を合唱、創立80周年を迎えた母校にエールをおくりました。今年、5年ぶりに会員名簿を発行いたしました。同窓のみなさんには現況調査や広告の掲載に多大のご協力をいただき、誠にありがとうございました。なお、協力金につきましても、よろしくご高配下さいますようお願いいたします。また、記念出版「薫先生」の購読も合わせて、よろしく願っています。来年(21世紀幕開け)の総会は、8月4日(土)に開催いたします。関東支部のみな

川の生態系を再生していく様子や、石組みを活用した屋久島の登山道の修復過程が良く判りました。人と自然の共存が重視されている今日、福留さんのますますのご活躍をお祈りいたします。懇親会は、森田校長をはじめ



関東支部からは市川新幹事長が出席

さん多数のご参加をお待ちしています。

東海支部だより

わかしゃち編集担当

内山順子(35回生)

関東支部の皆様、お元気で
すか。

二 年を振り返ると、

いろんなことがありました。ブ口野球は読売巨人軍の日本一といつことで終了し、関東地方にはいろいろ波及効果もありましたでしょう。まずはおめでとございませう。こちらの中日ドラゴンズはセ・リーグ2位でした。

シドニーでの、オリンピック・パラリンピックではとりわけ女性の活躍が目立った気がします。土佐のはちきんもどんどん台頭してほしいものです。

災害ということでは、9月11日から12日にかけての豪雨で、愛知県はたいへんな被害を受けました。百年に一度と想定された時間降雨量百ミリが簡単に突破され、あちこちで川から水があふれだし、決壊し、たくさんの方が浸水しました。水に浸かつ

たら、車も家屋も家財道具も使いものにならなくなり、失われた物の被害と、ゴミとなって残された物の始末という被害と・・・今年中にはどうも片付かないでしょう。都会生活はもろいもの。雨の中で私は、こんな川柳をつづやっています。

和尾

しかし突然でない人生もあります。東海支部の支部長大高坂秀雄氏は、名前に「記憶の方もありでしょうが、南北朝時代の大高坂城主・大高坂松王丸の直系のご子孫。このたび高知市役所前の記念碑の前で、没後六百十年祭を主催されました。変化の激しい世の中ですが、続いている歴史とか伝統とかは大切にしたいものです。土佐高の歴史も80年。伝統のなかに進取の精神を育む私たちの母校は、あらたな世紀へと大きく羽ばたいていくことでしょう。

関西支部だより

幹事 鎌田振吉(41回生)

関西支部の皆様、ご機嫌いかがでしょうか？いささか、旧聞になりますが、昨年末の高校サッカー選手権での土佐高試合応援の際は、たいへんお世話になり、厚く御礼申し上げます。関西支部では、永野支部長以下、11月の会報「なんぶつ」の発刊、来年1月13日(土)の関西支部新年総会の開催に向けて、頑張っております。また、この秋から、ドメインを取得し(<http://tosa-log.org/kansai/>)公式ホームページをスタートしました。内容の充実は、これからですが、ホームページでは、先輩格の関西支部に追いつけ追い越せを合い言葉に、頑張りますので、どうかご期待下さい。

関西支部としては、母校の甲子園出場以上の朗報はありません。8回裏には、密かに快哉をあげて、「これで、なんぶつ」の原稿はできた！とか、「甲子園のアルプス席に土佐弁が戻ってくる！」とか、いろんな思いが頭をよぎり、9回の攻防に息を潜めたのに・・・あ、あ、関西支部の野球部の消息通の話では、「これで、当分、甲子園は遠い」らしいです。

同窓会活動というと、恐らくいつの時代も、若い人の関心が薄いのでしょうが、地球温暖化と同様、年々、求心力が失われていっているように思われます。母校の学業成績の不振は今に始まった話ではないのですが、嘗てのように文武両道を誇れなくなっただ点も、大きいのでしょうか？話しは横道にそれますが、この夏の高校野球は、本当に惜しかった。甲子園の地元である

大阪に出てきてから、はや35年が過ぎました。学生時代は、あれ程たくさんいた土佐の先輩・後輩達も、いつの間にか周囲には殆ど居なくなりました。そんな中、久しぶりで学生の中に、後輩を発見した時の喜びは、ひとしおです。いやはや、情けないと言つべきなのかもしれませんが、しかし、こんな時代だからこそ、先輩・後輩を繋ぐメディアとして、また、忙しい毎日を通して、また、忙しい毎日を通して、

関西支部の活動が見えるようにするということ意味で、ホームページの開設は重要だと思います。気になるのは、この分野の話になると、見えてくるのが母校及び同窓会本部の消極性と云う世間の噂です。ま

るで、コンピュータ社会に抵抗する従来の日本型社会構造(某政党とは云いませんが)といった構図です。そもそも、関西支部でドメインを取得すること自体、へんな話して、何故、同窓会全体で考えないのかと思いますが、実際には、そつじない先には進めない、というのが実情です。少なくとも、この分野に関する限り、関西支部にしても、関東支部にしても、嘗ての脱藩浪士の集まり、みたいなもんなんでしょうね。

最後に、二 年関西支部活動報告を挙げて、支部便りとして頂きます。00年1月15日、関西支部新年総会。会場：新阪急ホテル「星・月の間」。出席者：来賓7名を含む122名。来賓を代表して岡村会長から祝辞を頂く。母校代表 森本教頭は今年の進学率の話をされた。

1月22日 広島支部総会(広島県民文化センター) 中山事務局長出席
5月20日 東海支部総会(いわぬ) 永野支部長出席
5月27日 関東支部総会(国立オリンピック記念青少年総合センター) 竹下幹事長出席

7月1日 香川支部総会(ニュー
フロントエアホテル) 竹下幹
事長出席

8月5日 高知本部総会(高
知新阪急ホテル) 川崎副支
部長、竹下幹事長出席

11月中旬 なんぶつ21号発行
予定。総会案内状と共に会員
一四 名に発送予定

01年1月13日(土) 関西支部
新年総会。19時開宴、21時30
分開会。会場：リッツカール
トンホテル大阪4階 ザ・リッ
ツカールトン・ボールルーム
(ザ・ウエストルームとザ・
セントラルルーム)。(06)の
343,700。多数のご参加をお
待ちしております。

広島支部だより

支部長 沖 修一(40回生)

関東支部の皆様、こんにちは
は、今年の広島はカープもサ
ンフレッチェも冴えない成績
でしたが、同窓会広島支部は
頑張っています。目下のこ
ろ、平成12年11月25日に行わ
れます。広島支部総会の準備に
向け多忙な日々です。

広島支部の支部会報「青春」
は10号を広島支部総会に間に

合わせるための編集も終わり、
出来上がりをお待ちのみなさん
に。 「青春」はJustin
atorを使用し、Macintoshコ
ンピュータで作成しており、
写真もフルカラーとなっております。

今回の試みとして同窓
生で広島で活躍しておられま
す方々を中心に、無理をお願い
いまして有料で広告を出し
てもらいました。広告も出来
る限りフルカラーで作成致し
ました。 関東支部の方々に広
島支部の支部会報「青春」に
美しいフルカラーの広告を出
しても良いとお考えの方がい
らっしゃいましたら大歓迎致
します。是非広島支部事
務局の方に御連絡下さい。

広島県の尾道市と愛媛県の
今治市を結ぶ「しまなみ海道」
の開通以後は殆どめばしい変
化のない広島ですが、来年は
待望の広島市内から羽田まで
を往復するジェット便が開通
しそうです。現在の広島空港
は広島から高速道路(山陽自
動車道)を通してシャトルバ
スで約1時間、自家用車で40
分ほど東に行った所にあり、
実は大変不便な思いをしてい
ます。広島には広島空港とは
別に広島市内の真ん中の海岸
よりの所に、コンピューター専

用の広島西飛行場(ヒトジヨー
という響きがノスタルジック
で良いですね)というのがあ
ります。この飛行場から百人
乗以下で小さくて騒音の少な
いジェットを羽田に飛ばそう
という計画です。広島西飛行
場は広島市の繁華街から市内
バスで20分程度、タクシーで
10分程度の所にあり、大変便
利です。ちなみに拙宅からは
自家用車で約10分です。

広島西飛行場と羽田の間に小
さなジェットが飛ぶようにな
りますと、当然のことながら
エアバスなどの大型ジェット
が飛んでいる広島空港と羽田
間の客が減ると予想されます。
このため、この計画には反対
もありませんが、要望は非常に
強く、かなりの確率で実現し
そうです。こうなりますと関
東支部の方々も広島に楽に来
ることができるようになるの
ではないかと思えます。

これからの冬にかけて広島
は食通にはこたえられない季
節になります。瀬戸内であれ
る新鮮な揚げ(かわはぎ)の
肝(きも)と唐辛子とわさび
であえた醤油で食べる刺身の
異様なつまさは、忘れられな
い舌の記憶として残ります。
関東支部の方々と広島でお会

いできますことを楽しみにし
ております。

香川支部だより

幹事 熊野 貴磨(40回生)

関東支部の皆様こんにちは
香川支部では、今年の7月1
日に恒例の総会ならびに懇親
会をJR高松駅近くのホテル
ニューフロントエアで開催し
ました。当日は、母校から土
居徹先生をはじめ、同窓会本
部ならびに各支部から多数ご
出席いただきました。関東支
部からも、市川幹事長に出席
をいただき、誠にありがとうございました。
ごさいました。9回生から75
回生まで総勢50名の幅広い年
齢層の方々の参加を得て、こ
れまでになく盛大な総会・懇
親会を開催できたことに支部
役員一同感謝しております。

今年の総会の大きな話題は、
事務局の設置と香川支部名簿
の作成でした。香川支部では
本会の一層の充実を図るため
発足当初の体制の見直しを行
い、今回新たに本部・他支部
との窓口となる事務局を設置
することにいたしました。また、
かねてより当支部の懸案であっ

た支部名簿については、同窓
会本部をはじめ関係者の皆様
の絶大なご支援により完成し、
総会の場で会員の皆さんに配
布することができました。

さて、私事で恐縮ですが、
今年の夏の暑さもピークだっ
た頃、丁度8月上旬に、親
しく付き合っている大手出版
社の女性編集者から、突然東
カナダへの旅のお誘いを受け、
成田からトロント、ケベック
を経由し、プリンスエドワー
ド島まで行って参りました。
旅の楽しさは言うまでもなく
一言では語り尽くせません。
オリジナルの旅の行動日程は
濃く詰まっています。「カナダ
からの手紙」は友人の半分な
しか投函できませんでした。

私の目や耳に刻まれた街の灯
り、風の匂い、草木のざわめ
き、新しい友人達・・・これ
らの記憶は、きつと私をチヤ
ージし、奮い立たせてくれるこ
とと思えます。またもう一度、
訪ねてみたいと思わせる東カ
ナダの空と太陽の輝きでした。
最後になりましたが、関東
支部の皆様は今後益々のご発
展のご健勝をお祈り申し上げ、
香川支部からの近況報告とさ
せて頂きます。

第4回土佐高ハイクの会

雨の立山登山



土佐高ハイキングの会から立山・黒部アルペン旅行の案内状が届いてから暫くして、同期の中島君から電話がかかってきた。「今度の立山は登山組とハイキング組に分かれるが、おまは富士山にも登ったとき、一緒に立山にも登ろうよ私も二つ返事でオーケーした。3年前の富士登山で何とか頂上まで辿りつくことが

できたあの時の爽快感を思いだし、今度行くなら絶対登るとの気持を強く抱いた。

7月14日夜10時過ぎ総勢29人を乗せた貸切バスは新宿を出発、関越から北陸道に入り朝5時過ぎには立山駅に到着した。登山組は私を含め7人、残りのハイキング組より一足早く6時過ぎケーブルと登山バスを乗り継ぎ、残雪の盛土を見ながら登山の出発点である室堂ターミナルで降りた。梅雨前線の影響で小雨交じりのやや肌寒い感じであったが皆登るといふ。男性は同期の中島、沢田の両君、女性は浜松から来た同期の下村さん、55回生の金澤さんとその同僚70回生の野町さんの7人。皆トレッキングシューズ、登山合羽で完全武装、私だけセーター、綿のズボンの上からゴルフのレインウェアで運動靴の軽装である。

8時過ぎに出発、しばらく私が先頭に立ち緩やかな雪渓を踏みしめながら歩いていくと息が切れてきて野町さん、中島君に先を譲りゆっくり進



38

む。後は沢田君等が続く。1時間余で中腹の一の越山荘に着いた時は雨足が少し強くなり視界も狭くなった。これからは勾配の急な岩と岩との間を縫うように進む。先頭の野町さんは上智大学山岳部の出身だけありどんどん登る。続いて若い金澤さんとその同僚

55歳を過ぎた同期の4人はどうしても遅くなり、小休止を繰り返す。どうにかこうにか頂上の神社に辿り着いた時は本格的な雨となり、風も一段と強くなっていた。しばらく

神社の中でストープにあたっていたが風雨が激しくなってきたので記念写真を撮り、直ぐ帰ることにした。

野町さんを先頭に降りていくが寒さと突風でなかなか思い通り進めない。膝が硬くなり時々足を取られる。足をまっすぐ下したつもりが膝がかじかんで横に流れる。岩に手をつき、滑るように足を動かす動作を繰り返しやつの思いで一の越山荘に戻った。小休止の後緩やかな雪渓を下っていくが、雨で雪がとけた後寒さで固く凍っており、時々足を滑らす。運動靴の私に中島君がストックを貸してくれた。雨足はどんどん激しくなり視



界は10米位かと感じられる程度までしか見えない。途中室堂ターミナルへの方向が分からなくなり、すれ違う登山者に道を尋ねながら全員無事帰還できた。皆全身ずぶ濡れである。特にゴルフのレインウェアを脱いだ私はセーター、ポロシャツ、ズボン、靴の中まで濡れていた。着替えは最初の貸切バスの中に置いてきたので、そのまま体温で乾かすより他にない。ターミナルの喫茶室でホットコーヒーと甘酒を頼み昼食の弁当を食べた時、寒さでガクガク震えた。しばらく経ち半乾きになってから、トローリバスに乗り、トンネルを抜け、天気であれば黒部ダムが一望できたであろう大觀堂の地上80米の大ケーブルを楽しみ、まるで炭坑の中に下っていくのかと感じられるトロツケーブルを乗り

